



**日章学園九州国際高等学校校長便り 霜月**  
**建学の精神**：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す  
**学園スローガン**： **為せば成る**  
**学校教育目標**：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。  
 令和4年(2022年)11月1日(火)校長 屋田伸仁



# 競争じゃなく、**挑戦。**順位じゃなく、**達成感。**



10月9日に第20回霧島登山マラソンに挑戦しました。本大会のキャッチフレーズが、「競争じゃなく、挑戦。順位じゃなく、達成感。」です。ゴールは高千穂峰頂上にある「天逆鉾」です。ゴール目指して、ひたすら坂道と山道を駆け上がります。65歳の体に鞭打ちながら、無事ゴールしたときは、「達成感」で感極まりました。実は、この霧島登山は、本校の「秋の一日遠足」(10月26日)の「韓国岳登山」に向けての前哨戦でした。「体力の備えあれば憂いなし」の言葉どおり、当日は元気旺盛な高校生と一緒に山頂まで登り切ることができました。



県外出身が多い生徒達も、韓国岳登山を経験して、えびのの大自然をますます好きになったのではないかと思います。そして、登山はきつい経験でしたが、自分との挑戦であり、山頂に到達したときの達成感、爽快感は、また格別だと感じたと思います。

この貴重な経験をこれからの高校生活でも活かして活躍して欲しいと願います。



## 家庭のサポート校



夏休みが終わり、学校が始まって間もない頃、宮崎日日新聞(令和4年9月5日)を読んでいると、次のような見出しのフレーズが目飛び込んできました。

### 「コロナ禍で県内児童生徒不登校増加」「ゲーム依存 不登校温床」「昼夜逆転 生活習慣に乱れ」「適応指導教室 対応網渡り 人員不足、受入制限も」

不登校の増加の原因は上記以外にも学習の遅れ、家族間の不和やケンカ、経済的理由等、さまざまです。本校は、不登校や進路変更の生徒の受け入れ校です。生徒募集で全国の通信制・サポート校合同相談会に参加していますが、近年、高校生よりも中学生、そして生徒よりも保護者の相談が年々増える傾向にあります。保護者の相談で多いのは、子どもの家庭での生活環境が変わらない限り、結局、高校に行っても、不登校は繰り返されるのではないかと心配です。また、通信制高校か、普通の全日制高校か、進路選択で悩まれている方もいました。そこで、次のように本校を紹介しています。



- ① 「通信制高校」と「全日制高校」以外に、「単位制・全日制高校」があります。
- ② 「寮のある単位制高校」だと、規則正しい生活習慣が身に付けられ、不登校は改善できます。
- ③ 家庭で一人学習ができなくても、「寮のある単位制高校」では対面型、少人数指導、学び直し学習をし、夜間学習もあるので、学習習慣が身に付きます。
- ④ 家庭内が原因の親子や兄弟関係等のもつれ、トラブルは、「寮のある単位制高校」の寮生活で、回避、改善できます。



寮生活は、不登校傾向の生徒にとっては、ハードルが高いかもしれませんが。しかし、本校は体育系のガチガチの寮でなく、一人ひとりに寄り添った緩やかな寮生活を提供できます。本校は通信制のサポート校ではありませんが、「家庭のサポート」校として、家庭で困っていることを寮が全面サポートしていくので、ぜひ、寮生活の良さやメリットを理解してください。「百聞は一見に如かず」です。まずは、寮見学(入寮体験)から始めませんか。不登校を脱して、規則正しい生活習慣を身につけ、自分らしい理想の高校生活を送りませんか。